

福岡市の 家庭ごみ減量・リサイクルの取組み



ごみ減量
シンボルマーク
かーるちゃん

マイバッグキャンペーン
キャラクター
モッテコちゃん



平成24年1月16日

福岡市環境局家庭ごみ対策課

私達がごみ減量に取り組む理由



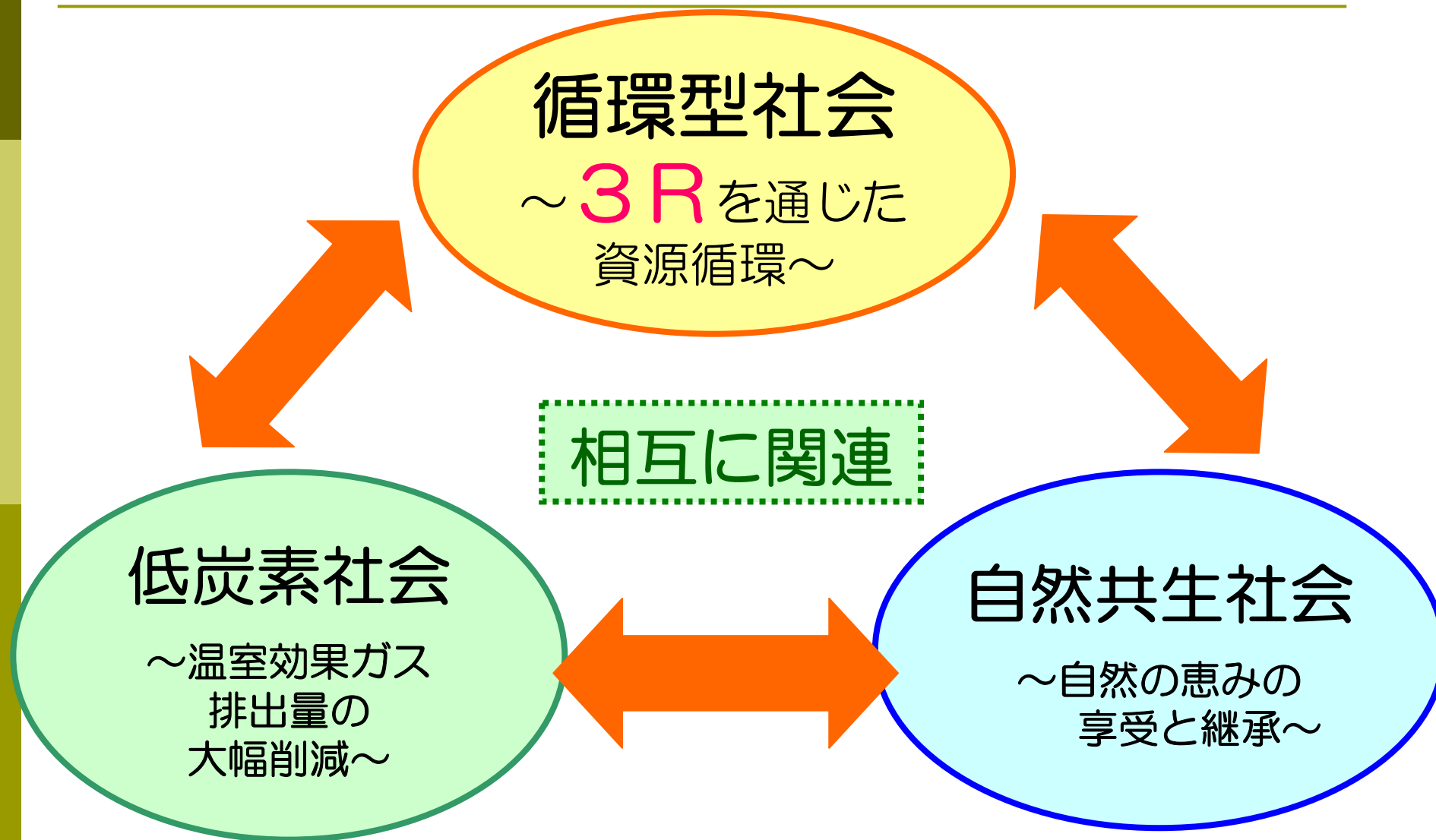
持続可能な社会を目指して

循環型社会

～ 3 R を通じた資源循環～

- | | |
|-------------------|--------------|
| ■ Reduce (リデュース) | ごみを減らすこと |
| ■ Reuse (リユース) | くり返し使うこと |
| ■ Recycle (リサイクル) | 資源として再利用すること |

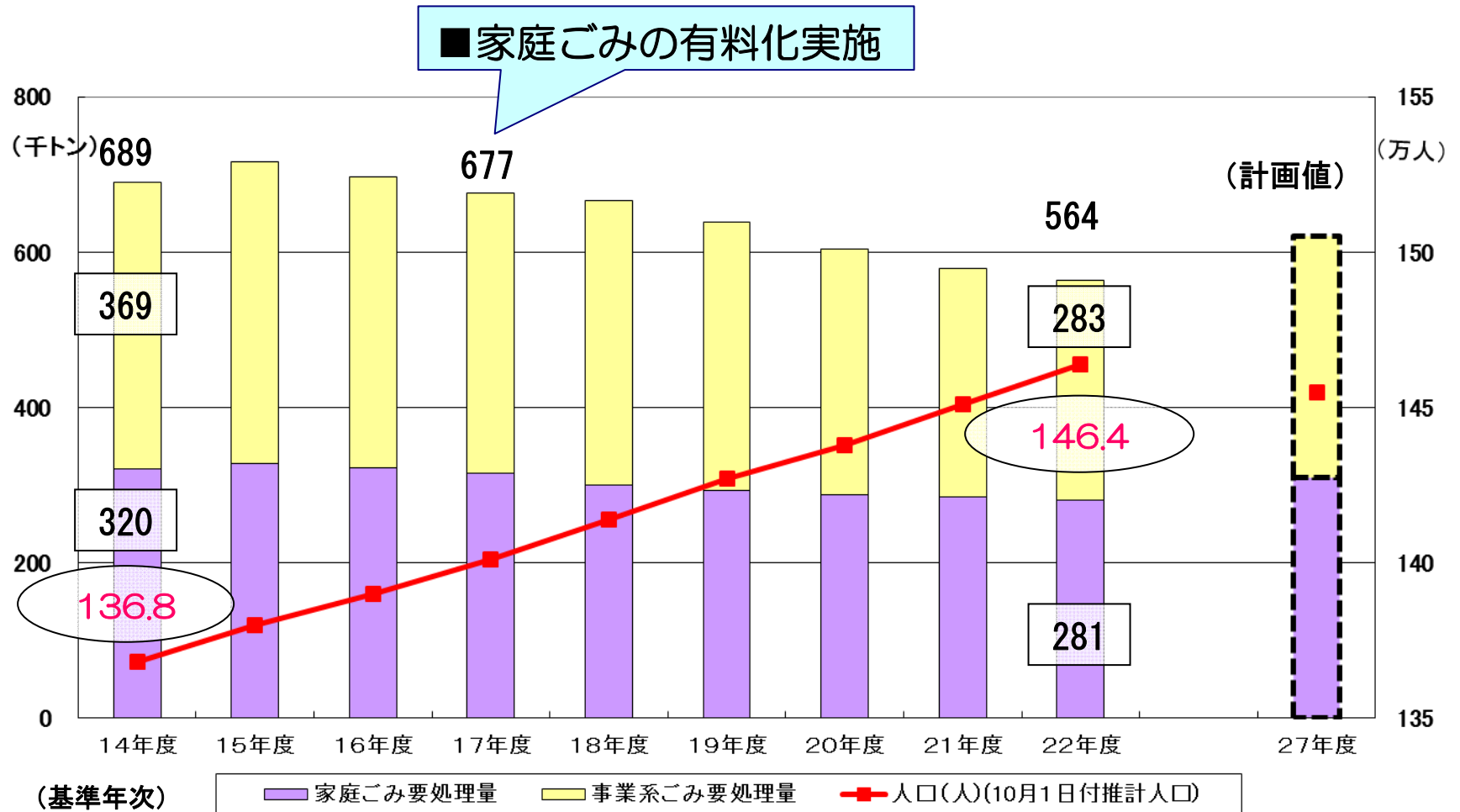
持続可能な社会を目指して



福岡市のごみ処理の現状

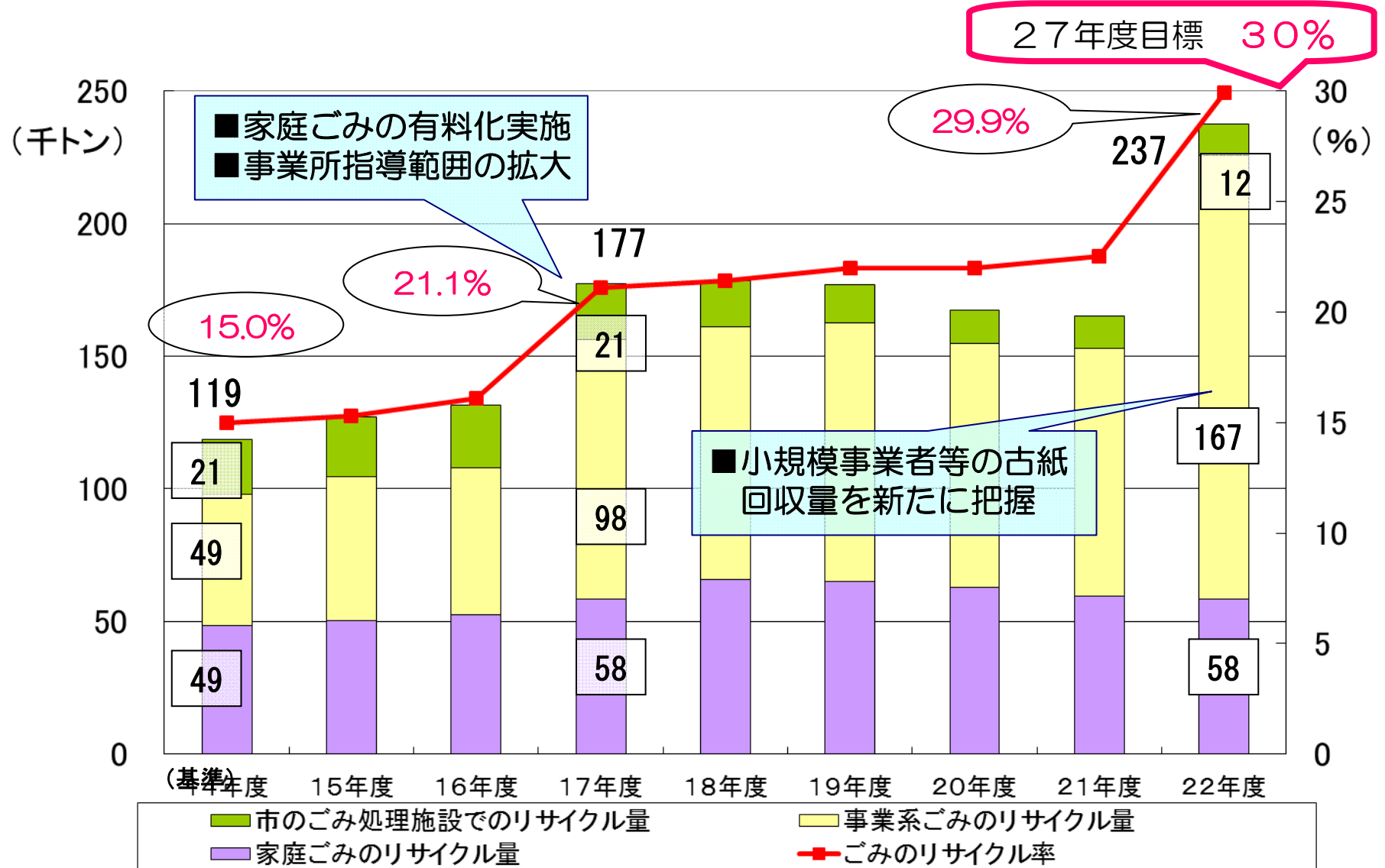


ごみ要処理量と人口の推移



※ ごみ要処理量:ごみ排出量のうち、資源物及び地震や水害などの罹災ごみ等を除いた量。

ごみのリサイクル量と率の推移



※ごみのリサイクル率:「ごみのリサイクル量」を「ごみ要処理量とごみのリサイクル量の合計」で除した割合。

新循環のまち・ふくおか基本計画 (平成24年度から実施)

基本計画テーマ

「元気が持続する循環のまち・ふくおか」を継続

基本方針

- ①循環型社会づくりのさらなる推進
- ②処理の優先順位に基づく適正処理の推進
- ③持続可能な社会の実現に向けた施策の推進

■目標年次：平成37年度
(基準年度：平成21年度)

■数値目標

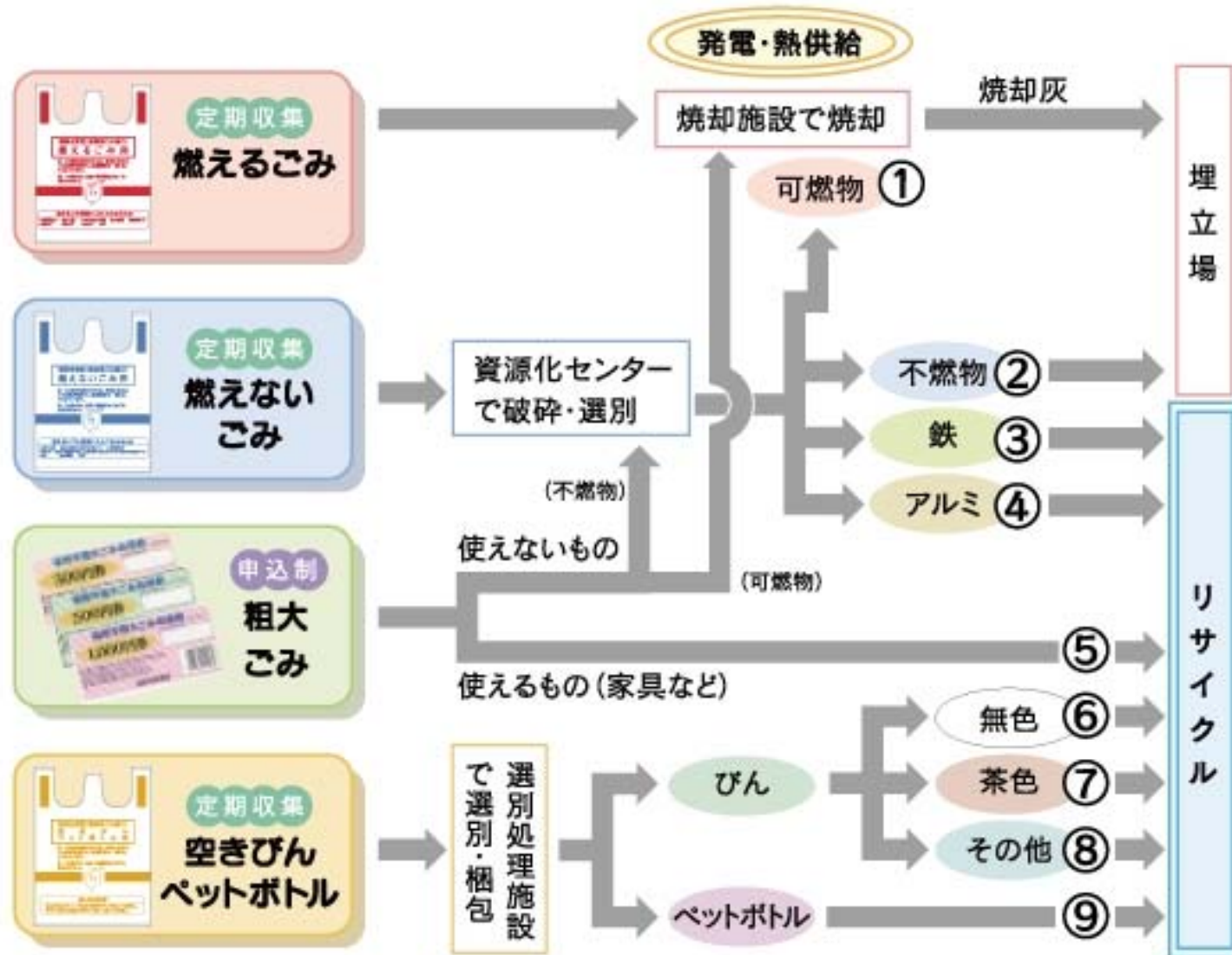
- ①ごみ量削減量 **11万トン!**
(平成21年度 58万トンから平成37年度 47万トン)
- ②リサイクル率 **38%へ!**
(平成21年度 28%から平成37年度 38%)



みんなの力を集結
してがんばろう!
市民・事業者のみ
なさまのご協力を
お願いします。

福岡市の家庭ごみ処理の流れ

4分別



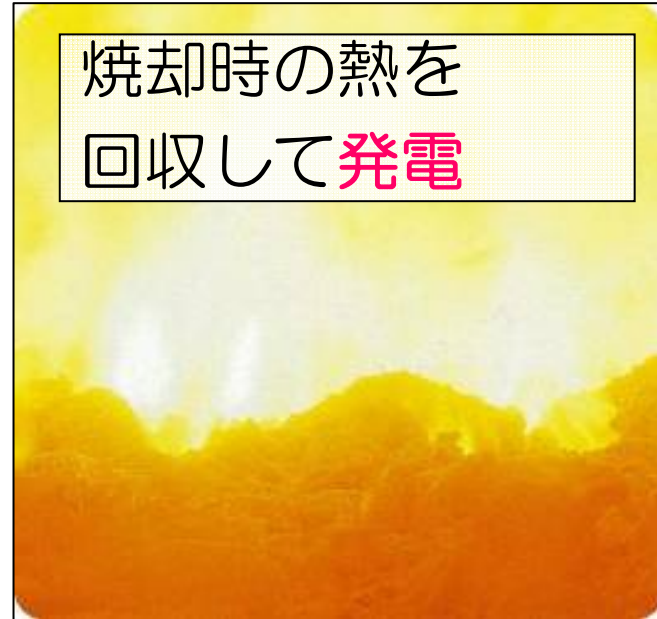
9区分

燃えるごみ : 焼却処理 → 発電
燃えないごみ : 破碎選別 → 再資源化

東部工場 (2005~)



焼却時の熱を
回収して**発電**



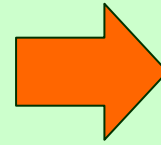
西部資源化センター(1994~)



細かく破碎して
鉄・アルミを回収



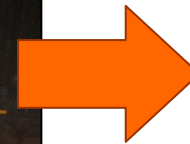
びん・ペットボトル：選別



再資源化
(再商品化業者)



夜間収集



選別作業



選別作業



圧縮・梱包



ペットボトル



びん



無色



茶色



その他

ごみ減量・リサイクル推進のためには

① Reduce
(リデュース)
ごみを減らすこと

② Reuse
(リユース)
くり返し使うこと

③ Recycle
(リサイクル)
資源として
再利用すること

① Reduce ② Reuse の 2R に重点を
おいた 3R の取組み強化がさらに必要！



リデュース

レジ袋削減の取組み



市民・事業者・市の三者の連携による レジ袋削減の取組みについて

目標：マイバッグ持参率 **50 %以上** (25年度末まで)

○協定参加事業者

(31事業者 505店舗)

○マイバッグ推進ふくおか市民の会

(62団体, 9,631人)

○福岡市

(平成 23年 11月末現在)

協定参加事業者の取組状況

(31事業者 505店舗)

持参率向上のため、事業者毎に様々な取組を実施。

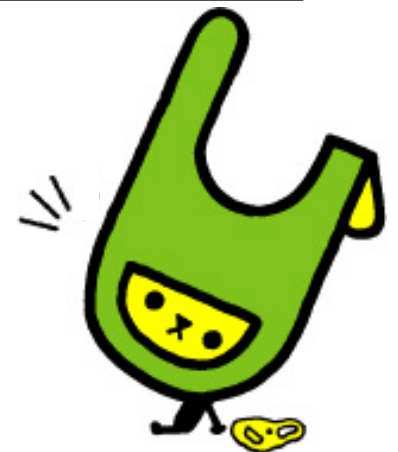
- ・レジ袋の無料配布の中止 7事業者
- ・レジでの値引き 7事業者
- ・ポイントの還元 18事業者
- ・意思確認（レジでの声かけ） 22事業者
- ・マイバッグの販売、
店内放送での呼びかけ 等 31事業者

(22年度末の取り組み状況及び23年度新規加入店舗)

協定参加事業者のマイバッグ持参率

《マイバッグ持参率 **50%以上** の協定参加事業者数》

	19年度	20年度	21年度	22年度
50%以上の事業者数 (A)	2	3	9	10
協定参加事業者数 (B)	16	24	28	27
割合 (A) ÷ (B)	12.5%	12.5%	32.1%	37.0%



福岡市

マイバッグキャンペーンソング

公募で 完成！



わたしはいつでもマイバッグ♪♪
買い物行くならマイバッグ♪

市のホームページから
ダウンロードできます♪

CDの貸出しも可能です！

平成23年度 マイバッグキャンペーン

レジ袋を5回断って景品を当てよう！

応募用紙に、レジ袋を断った日にちと場所（スーパー名）を記入し、応募すると、抽選で景品が当たるキャンペーン。

★応募期間：10月22日(土)～11月17日(木)



リデュース

リサイクル

生ごみの減量・減容化



生ごみを減らすためには

- 計画的な買い物
- エコ・クッキング
- 食事の作りすぎ、
食べ残しをしない
- 電動式生ごみ処理機・生ごみたい肥化容器
段ボールコンポストの利用



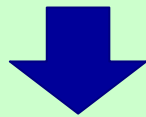
生ごみのたい肥化市民啓発講座

- 場所：東区蒲田（クリーンパーク・東部内）
博多区立花寺1丁目
- 概要：生ごみのたい肥化や、たい肥の使い方などを
学べる場所



生ごみを減らす ひと手間

“ギュッ!” と、一絞り!
(水を切って)



「燃えるごみ」へ



リユース



3Rステーション



臨海3Rステーション



西部3Rステーション



ミニ3Rステーション

自ら体験して，気づき，学ぶ場所

裂き織り体験



古布で帽子作り講座



○各種講座の参加数

20年度	21年度	22年度
7,037 人	6,502 人	6,720 人

次の人にも，大事に使ってもらいたい

リユースコーナー



フリーマーケット

○リユース品の提供数

20年度	21年度	22年度
221,062点	197,409点	224,403点

リサイクル

古紙などの資源物回収の促進



地域集団回収等報奨制度

古紙などの
資源物回収を
市民の力で促進



《実施団体数》

年度	18	19	20	21	22
団体数	1,834	1,840	1,864	1,866	1,885

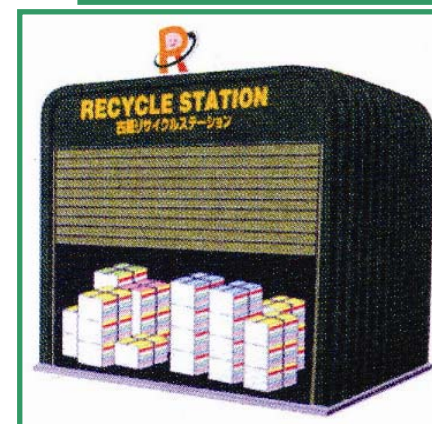
拠点での資源物回収事業

- ・ 紙リサイクルボックス (305か所)
- ・ 校区紙リサイクルステーション (89か所)
- ・ 民間協力店 (85か所)
- ・ 区役所・市民センター等 (9か所)

(23年8月末)

〈区役所等における回収物〉

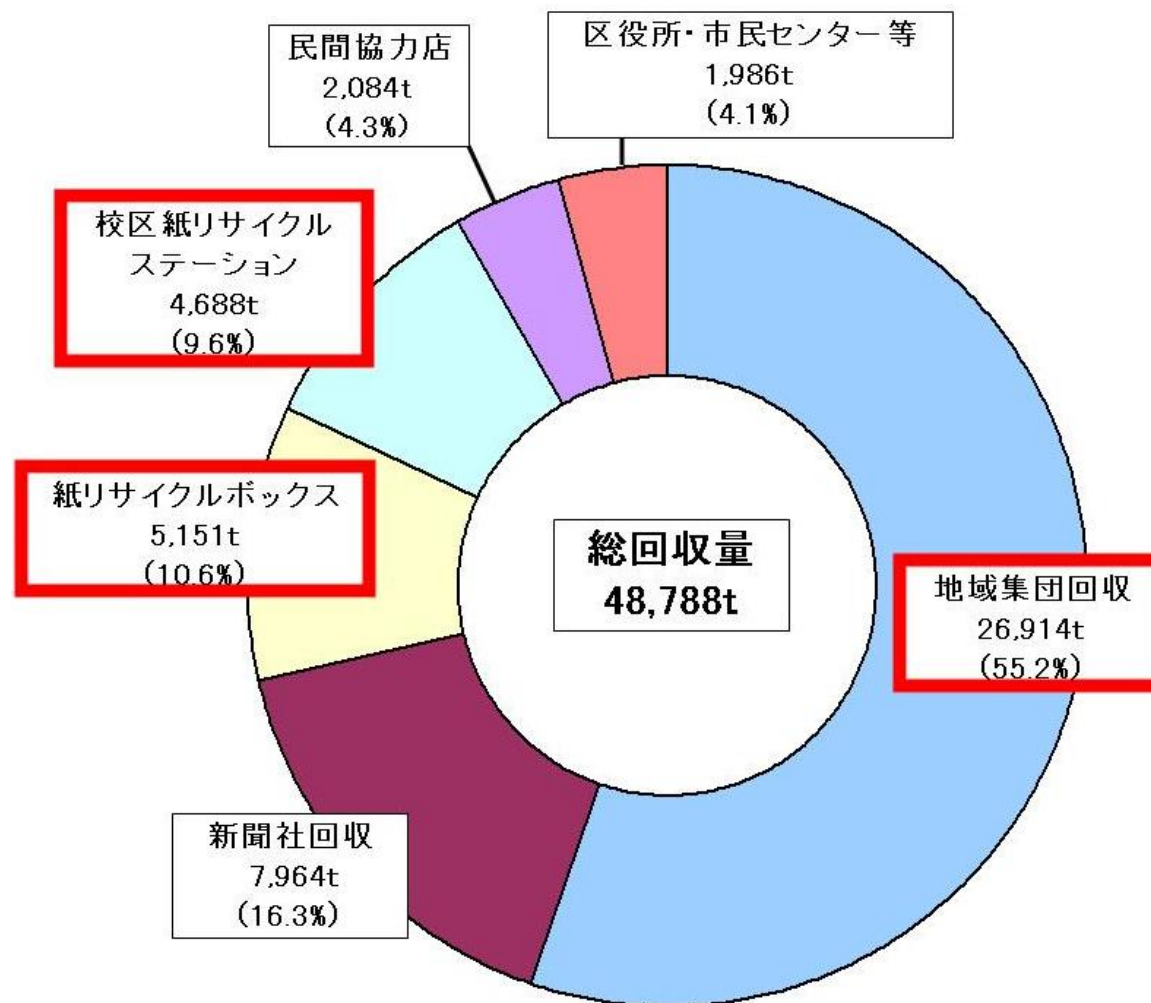
古紙, 空きびん, 空き缶, ペットボトル,
紙パック, 食品トレイ (白色), 蛍光灯,
生ごみ堆肥化物



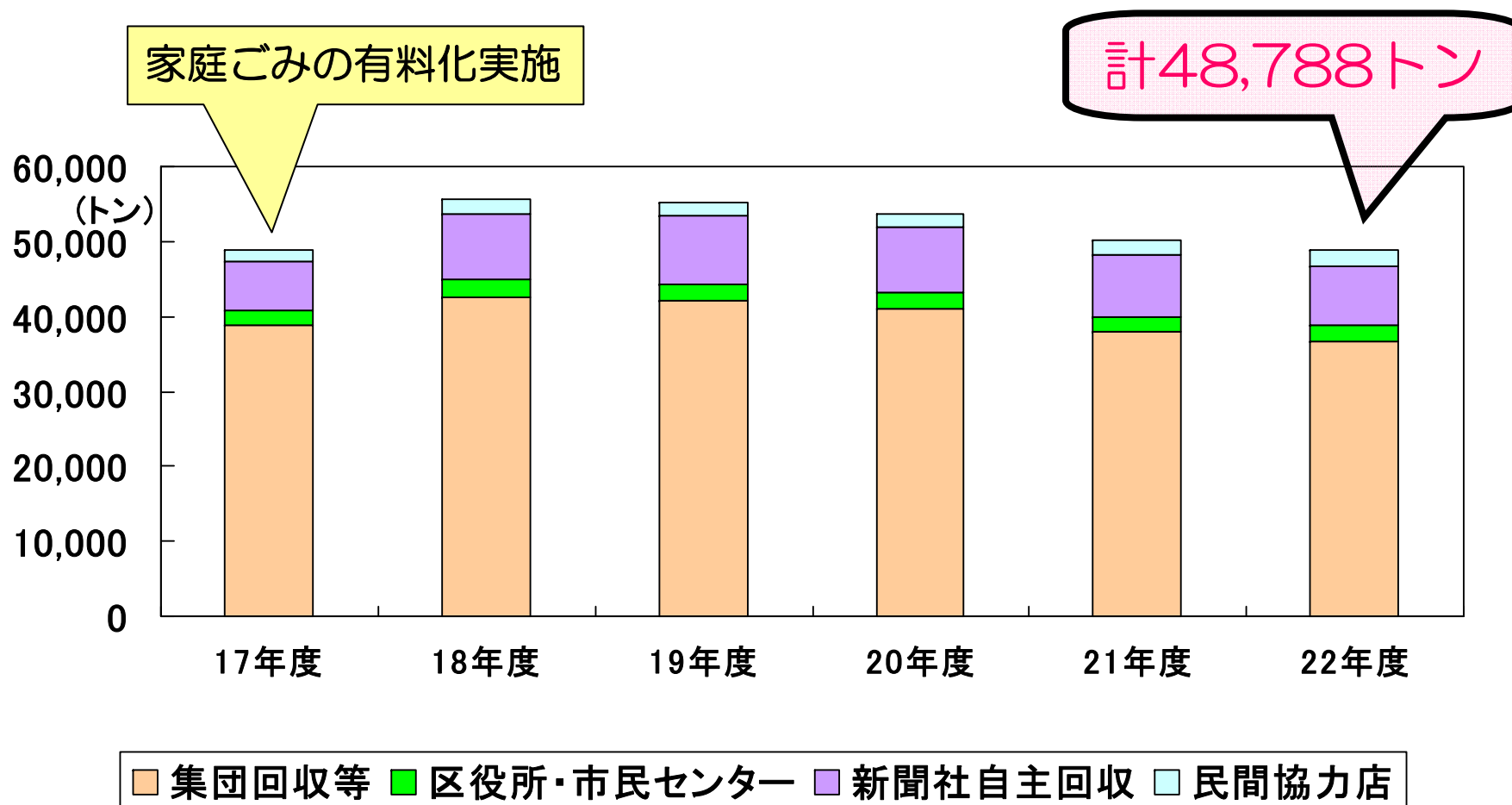
平成22年度

資源物回収量

【回収方法別】



資源物回収量の推移



使用済小型電子機器 回収モデル事業



家庭系



レアメタルの資源化促進



回収ボックス（市内40か所）

○使用済み小型電子機器には、金、銀、銅やレアメタルの貴重な資源が含まれており、都市鉱山として注目されている。

○ソニー株式会社が事業主体となって、市内のスーパーや大学等に回収ボックスを設置し、資源を製品の一部に活用する実証実験に取り組んでいる。

（平成22年6月～）

携帯電話などから **金** が！



○回収対象



■回収対象となる使用済小型電子機器 (サイズ25㍓×8.5㍓以下)

携帯電話、小型ゲーム機、デジタルカメラ、ポータブルラジオ、ビデオカメラ、電子手帳、電子辞書、ポータブル音楽プレイヤー、ICレコーダー、ポータブルAVプレイヤー
及びこれらの付属品（ACアダプター、コード類、イヤホン、充電器）

○平成22年度の回収量

約 900kg（約 12,000個）から以下の金属を抽出。

金	107 g
銀	337 g
銅	60kg
パラジウム	15 g



その他の3R啓発



出前講座の実施

職員が地域に出向いて、
ごみ減量・リサイクルの進め方や、ごみの分け方などを説明。



日本語学校で外国人新入生
を対象にした講座も実施！

◆実施回数◆

21年度：19回，22年度：16回



事業系ごみに関する新たな取り組み



福岡市事業系ごみ資源化推進ファンド（基金）

福岡市事業系ごみ資源化推進ファンドの仕組み

ごみ処理手数料の
改定に伴う収入に
相当する額の一部

積立

市民や事業者の
皆様からの寄付金

積立

福岡市事業系ごみ資源化推進ファンド

支援

事業者が主体となった事業系ごみのリサイクルの取組み

4つの分野での支援

リサイクル情報
ネットワークの
構築

リサイクルに
取り組む
排出事業者への
支援

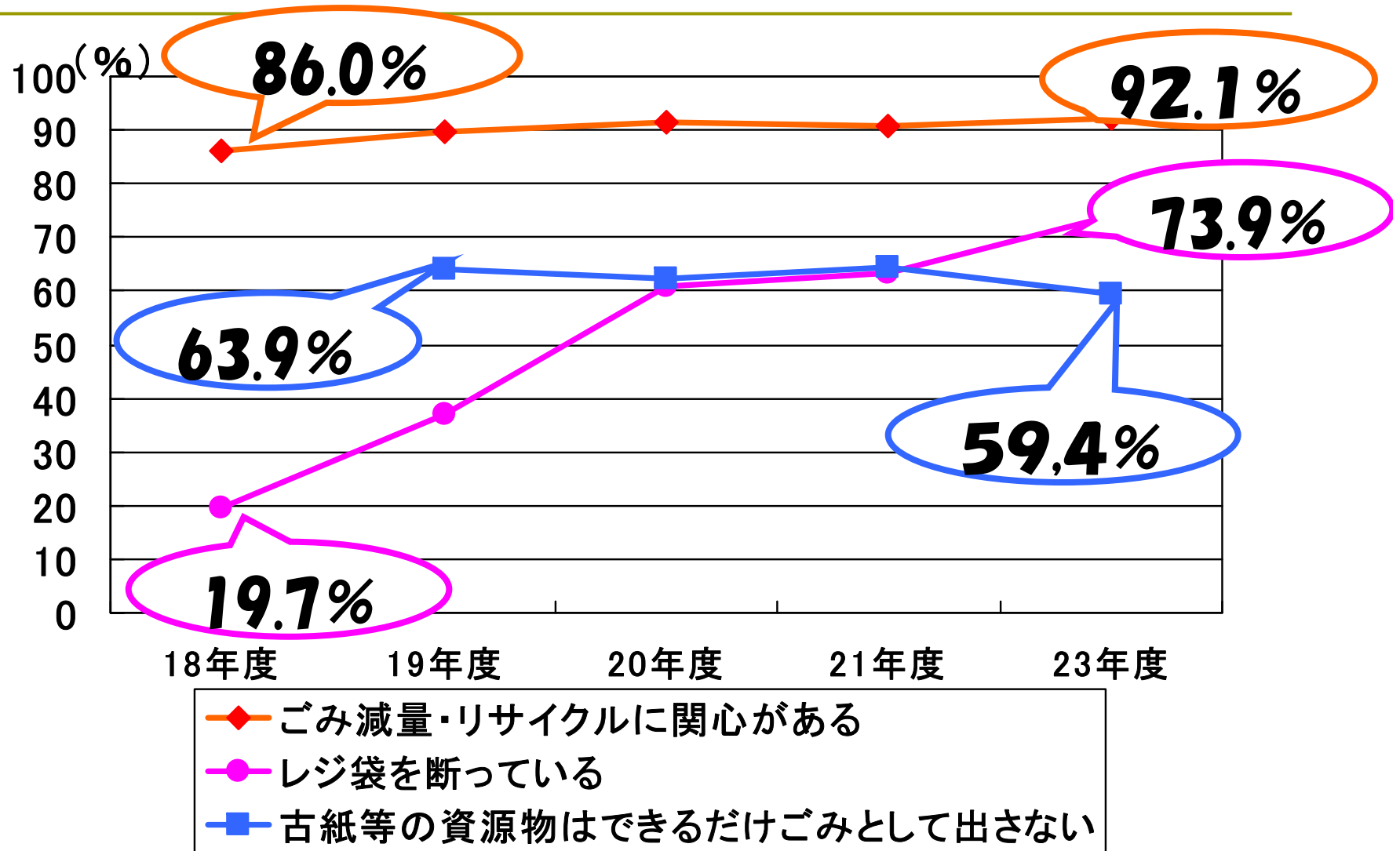
リサイクル
事業者への
事業化の支援

事業系ごみの
リサイクルに
関する研究への
支援

市民の皆さんの意識は？！

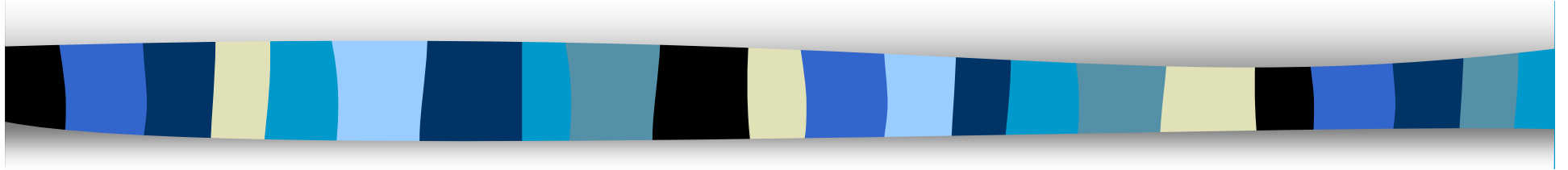


ごみ減量・リサイクルへの関心は？



今後とも、さらなるごみ減量・
リサイクルの推進に向けて、
皆様のご協力をお願いいたします。





終

